

1. 件名：新規制基準適合性審査に関する事業者ヒアリング（島根2号機設計及び工事計画）【354】
2. 日時：令和5年1月11日 10時00分～12時00分
3. 場所：原子力規制庁 9B会議室（TV会議システムを利用）
4. 出席者（※・・・TV会議システムによる出席）

原子力規制庁：

新基準適合性審査チーム

津金主任安全審査官、服部(靖)安全審査専門職、植木技術参与、山浦技術参与

技術基盤グループ 地震・津波研究部門

堀野技術参与

事業者：

中国電力株式会社

電源事業本部 担当部長（原子力管理） 他6名※

電源開発株式会社

原子力事業本部 原子力技術部 設備技術室 課長代理※

## 5. 要旨

(1) 中国電力株式会社から、島根原子力発電所2号機の設計及び工事の計画認可申請書のうち、耐震性に関する説明書（取水槽ガントリクレーンの耐震性についての計算書等）について、令和4年12月23日の提出資料に基づき説明があった。

(2) 原子力規制庁から、主に以下の点について説明等を求めた。

【取水槽ガントリクレーンの耐震性について】

- ブレースの許容圧縮応力が座屈に対する値であること及びその算出過程を説明すること。
- クレーン車輪部の非線形要素の設定において、車輪とレールの接触剛性を考慮したばね要素とクレーン質量で構成される1自由度系の固有振動数を20Hzに設定した根拠について、既往研究の検討内容を説明すること。また、固有振動数20Hzが島根原子力発電所2号機の取水槽ガントリクレーンの耐震設計にも適用可能である理由について説明すること。
- 車輪とレール間の衝突による減衰比を設定する際に適用した反発係数の値及び設定の詳細を既往研究との対応を含め説明すること。

(3) 中国電力株式会社から、本日説明等を求められた内容について了解した

旨の回答があった。

6. その他

提出資料：

なし